

【様式4】

令和7年度海神公民館事業計画

1. 地域の状況

海神公民館は市内で25番目の公民館として平成12年5月13日に開館した。対象地域は海神1～6丁目、南本町、海神町2丁目～3丁目、海神町東1丁目、海神町西1丁目、海神町南1丁目、南海神1丁目～2丁目、面積約2.8㎢からなり、対象人口は令和7年4月1日現在、17,921世帯、33,080人である。管区内には小学校が3校と中学校が1校ある。海神公民館の立地は、京成海神駅から徒歩1～2分と交通の便が良いため、他地域の方にも多く利用されている。

2. 地域の課題

- (1) 少子化が進む中、地域全体で子供たちを見守ることが重要である。また、地域の学校・児童ホーム・青少年育成団体・地区社会福祉協議会等と連携し、親子や子供たちが参加しやすい場を提供し、豊かな体験を通じた青少年及び子育て支援事業が必要である。
- (2) 高齢化率は市の平均より下回るが、地域内の交流が希薄になっていることが懸念され、高齢者等が孤立する状況が増えていくと考えられる。
- (3) 人生100年時代といわれる今後を、心身ともに健康に過ごすため、地域住民の学ぶ機会や生きがいがづくり、健康づくりが重要である。また、長いライフサイクルの中では若年期に身につけた知識や技能だけではなく、時代の変化に応じた知識やスキルを獲得することや、情報格差への対応が必要である。
- (4) 台風や地震等への備えを日頃より意識する必要がある。また、環境問題について考え行動することが必要である。
- (5) 地域住民が生き生きとした人生を送ることができるよう、共生社会の正しい理解が必要である。
- (6) 社会教育関係団体や利用者の高齢化により、団体人数や公民館利用者が減少傾向にある。

3. 重点目標

- (1) 青少年育成団体や学校・児童ホーム等関係団体・機関と連携をとりながら、青少年の体験活動やスポーツ、文化活動等主体性を伸ばすための事業に取り組む。地域で相談、解消できることを目的とした事業を展開し子育てを支援する。
- (2) 孤立しがちな高齢者を対象とした事業の他、世代を問わず交流が図れる事業展開により、地域交流の場を提供し、地域の活性化につなげる。また、地域住民が郷土への愛着を持てるような取り組みを実施する。
- (3) 高齢者はもとより、年齢を問わず心身の健康の維持・増進を支援し、仲間づくりや生きがいがづくりを推進する。また、情報格差の解消、生活の一助になるための講座を継続して行う。

生涯をとおして知識と時代の変化に応じたスキルを獲得することの必要性から、リカレント教育に関する講座を行う。

- (4) 防災意識を高めるため、引き続き防災に関する事業を行う。また、環境問題について考えるための事業を提供する。
- (5) 多様な学習ニーズを有する成人に対して、様々なライフステージに応じた事業を展開し、充実に努める。
- (6) 地域の交流の場として、公民館を利用してもらえよう、社会教育関係団体の活動支援を行い、利用しやすい公民館運営に取り組む。